

やんばる学びの森

何世紀も前、やんばるまなびの森を構成する土地と樹木は、木材などの資源を供給する共有の森林として大切にされていました。近年、日帰り旅行者や宿泊客を迎えるためにこの施設がオープンしました。ここにいる経験豊富なガイドが森林とその遺産について教えてくれます。

やんばるまなびの森はいくつかのエリアに分かれています。ビジターセンターの南にある「遊びのゾーン (Active Zone)」と呼ばれるエリアは、第二次世界大戦後、軍事訓練エリアとして使用されていた未開発の森林地です。今日では、このエリアはガイド付きのカヌーツアー、散策、環境教育プログラムに使用されています。また、アスレチック広場とオートキャンプ場もあります。

森の北西部は「学びのゾーン (Discovery Zone)」です。学びのゾーンには、この看板の向こうの左側にあるビジターセンターと、右側にあるカフェ・レストランと宿泊施設が含まれます。レストランおよび宿泊棟のすべての部屋から国頭の山々の素晴らしい景色を眺めることができます。夕方には、素朴な鑄鉄製の風呂で、下方の森の音を聞きながらリラックスできます。

やんばるまなびの森にはいくつかの自然散策路もあり、その中にはウォーキング・セラピーを提供するグループが使っているコースもあります。650メートルのユニバーサルデザインのコースは、移動に困難がある方でも楽しめます。せせらぎの小川に沿って滝まで続く700メートルのリバーソングコースの散策にはガイドの同行が必須です。季節に応じて、アカショウビン、ヤンバルテナガコガネ、イシカワガエルなどのユニークな地元の生き物が見られるかもしれません。また、夜行性の野生生物たちが姿を現すナイトツアーに参加し、やんばるの森の別の側面に出会うこともできます。